

富山県内水面漁業振興計画（案）の概要

基本目標：森、川、海をつないだ豊かな漁場をつくり、持続可能な内水面漁業を目指す

主な情勢の変化や課題	推進施策	KPI 現状→令和13年度	
(1)内水面水産資源の回復と増大【資源】			
①再生産を行う地場産アユ種苗の放流 ②サケ来遊尾数の低迷 ③サクラマス資源の減少 ④外来魚やカワウの効率的・効果的な駆除対策	①アユ資源の維持・増大 ②サケ資源の維持・回復 ③サクラマス資源の維持・回復 ④外来魚・カワウ対策の推進	①地場産放流種苗の割合（％） ②生産技術に関する研修会および巡回指導の回数 ③河川のサクラマス漁獲量 ④外来魚の駆除活動を実施している漁協の数	71%→80% 31→現状維持 1トン→2トン 1→3
(2)内水面における漁場環境の再生と保全【環境】			
①気候変動による河川環境の変化 ②「豊かな川づくり」の推進	①河川環境の再生と保全 ②内水面の多面的機能に関する理解の促進	①魚類の生息調査河川数 ②内水面に関係した出前教室や体験授業の回数	18→25 15→20
(3)活力ある内水面漁業づくり【活力】			
①組合員の減少と高齢化、また、漁協経営の安定化 ②県内における遊漁者の減少 ③養殖業における収穫量の減少 ④アユ等の疾病に関する防疫対策	①内水面漁協の体制強化 ②遊漁振興と適切な漁場利用 ③養殖業の活性化 ④魚類防疫対策の強化	①主要4魚種（アユ、ヤマメ、イワナ、サクラマス）漁場における自主放流を実施した漁場数 ②遊漁承認証の発行枚数 ③養殖収穫量 ④アユの冷水病保菌検査を実施している飼育施設の割合	22/42→30/42 14,942枚→17,000枚 46トン→60トン 75%→100%